



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月14日

上場会社名 株式会社Kids Smile Holdings 上場取引所 東
コード番号 7084 URL <https://www.kidssmile-hd.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中西 正文
問合せ先責任者(役職名) 専務取締役 (氏名) 田上 節朗 (TEL) 03-6421-7015
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	9,319	7.3	685	25.5	64	—	151	△50.0	89	△51.2
2023年3月期第3四半期	8,684	9.6	546	24.2	△99	—	302	△74.8	182	△76.6

(注1) 包括利益 2024年3月期第3四半期 78百万円(△57.2%) 2023年3月期第3四半期 183百万円(△76.5%)

(注2) EBITDA (営業利益+減価償却費)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2024年3月期第3四半期	27	52	27	40
2023年3月期第3四半期	56	43	56	17

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第3四半期	13,166	6,275	47.7%
2023年3月期	13,845	6,196	44.8%

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 6,275百万円 2023年3月期 6,196百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	12,500	5.4	100	—	150	△60.4	100	△46.8	30	83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(参考) EBITDA 930百万円

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	3,243,950株	2023年3月期	3,242,950株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	—株	2023年3月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	3,243,440株	2023年3月期3Q	3,241,980株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足説明	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症に変更されたこと等により社会経済活動の正常化が進み、インバウンド需要をはじめとする消費の回復等、景気回復の動きが見られる一方、ロシアのウクライナ侵攻等による影響が長期化しており、燃料や原材料の価格高騰及び円安進行による物価上昇等の影響により、景気を下押しするリスクに引き続き留意が必要な状況にあり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属する保育・幼児教育市場においては、政府が2023年6月13日に「こども未来戦略方針」を閣議決定し、少子化対策を政策の大きな柱の一つとして、こども・子育て世帯をライフステージに応じて切れ目なく支援する方針を打ち出しました。この中で、産前・産後ケアの拡充や、就労要件を問わず時間単位で保育所を柔軟に利用できるような「子ども誰でも通園制度（仮称）」の創設をうたっています。「子ども誰でも通園制度（仮称）」は2026年度からの本格実施に向けて、一部の市区町村でモデル事業が始まっています。

さらに政府は2023年12月に「こども大綱」を閣議決定し、すべての子どもや若者が幸福な生活を送ることができる「こどもまんなか社会」の実現を掲げ、ライフステージに応じた切れ目ない支援を重要事項として盛り込みました。

このような環境の中、当社グループは、「教育を通じて社会に貢献する」「未来に輝く子どもたちを育てる」という使命のもと、子どもたちの自ら学ぶ力を育ていけるよう、「プレミアム教育サービス事業」、「認可保育所事業」を事業展開し、多彩な教育プログラムと期待に応える保育サービスの提供に取り組んでまいりました。

プレミアム教育サービス事業では、プレミアムスクールのセカンドラインとして2023年4月1日にキッズガーデングローバルスクール錦糸町を開校し、またプレミアム教育のフラッグシップ施設としてスタートした大型施設キッズガーデン南青山が順調に推移しています。また、2023年8月8日に森ビルが新たに展開する大型商業施設「麻布台ヒルズ」に新たな幼児向け施設を新規開設する予定を発表しました（オープン時期は未定）。この施設は、キッズガーデン南青山のプレミアム性にグローバルスクールの国際性をプラスした新たなフラッグシップとして、パワーアップしたプレミアムスクールとする予定です。

認可保育所事業は、サービスレベルの向上に向けた研修を強化するとともに、不適切保育防止に向けた施策を推進し、保育の質向上への取り組みを行ってまいりました。また積極的に「入園前説明会」を開催し、当社園の特徴の紹介や育児相談を行うなど、「利用者から選ばれる園」に向けた情報発信と職員の意識向上を進めてまいりました。新規開設としては、2023年4月1日、東京都練馬区に「キッズガーデン練馬関町」をオープンしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間末における当社グループが運営する施設数は、認可保育所を東京都・神奈川県・愛知県に70施設、プレスクール一体型保育所（認可外保育施設）、幼児教室及び学童施設、スイミングスクールを東京都に9施設合計79施設を展開し運営しております。

以上により、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高9,319百万円（前年同四半期比7.3%増）、EBITDA 685百万円（前年同四半期比25.5%増）、営業利益64百万円（前年同四半期は営業損失99百万円）となりました。経常利益につきましては、営業外収益に計上しております補助金収入が、認可保育所の開設数減少（当第3四半期連結累計期間は1施設、前年同四半期連結累計期間は3施設）に伴い前年同四半期より319百万円減少し151百万円（前年同四半期比50.0%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、89百万円（前年同四半期比51.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、13,166百万円（前連結会計年度末は13,845百万円）となり、前連結会計年度末に比べ678百万円減少しました。その内訳は以下のとおりとなります。

(流動資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、4,280百万円（前連結会計年度末は4,277百万円）となり、前連結会計年度末に比べ3百万円増加しました。これは未収入金の増加(252百万円)等があったものの、現金及び預金の減少(203百万円)、前払費用の減少(46百万円)等があったことによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、8,886百万円(前連結会計年度末は9,567百万円)となり、前連結会計年度末に比べ681百万円減少しました。これは敷金及び保証金の増加(24百万円)等があったものの、建物及び構築物(純額)の減少(290百万円)、建設仮勘定の減少(255百万円)、及び長期前払費用の減少(103百万円)等があったことによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、2,678百万円(前連結会計年度末は3,320百万円)となり、前連結会計年度末に比べ642百万円減少しました。これは未払費用の増加(67百万円)等があったものの、短期借入金の減少(370百万円)、1年内返済予定の長期借入金の減少(224百万円)、及び未払法人税等の減少(137百万円)等があったことによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、4,213百万円(前連結会計年度末は4,328百万円)となり、前連結会計年度末に比べ114百万円減少しました。これは長期借入金の減少(89百万円)、及び繰延税金負債の減少(32百万円)等があったことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、6,275百万円(前連結会計年度末は6,196百万円)となり、前連結会計年度末に比べ79百万円増加しました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加(89百万円)等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月15日発表の数値を変更しております。詳細につきましては、本日(2024年2月14日)発表しております「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,770,783	2,567,380
売掛金	45,431	34,892
前払費用	431,195	385,071
未収入金	1,007,314	1,259,826
その他	33,143	40,923
貸倒引当金	△10,515	△7,608
流動資産合計	4,277,353	4,280,486
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,803,111	7,512,531
工具、器具及び備品（純額）	116,275	88,286
建設仮勘定	262,114	6,170
その他（純額）	49,200	34,944
有形固定資産合計	8,230,703	7,641,933
無形固定資産		
その他	4,530	4,091
無形固定資産合計	4,530	4,091
投資その他の資産		
投資有価証券	54,383	37,523
長期前払費用	444,827	341,603
敷金及び保証金	814,664	839,555
繰延税金資産	14,448	21,623
その他	5,398	1,263
貸倒引当金	△1,226	△1,226
投資その他の資産合計	1,332,496	1,240,340
固定資産合計	9,567,730	8,886,365
資産合計	13,845,083	13,166,851

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
短期借入金	1,380,700	1,010,000
1年内償還予定の社債	145,000	145,000
1年内返済予定の長期借入金	578,649	354,302
未払金	398,041	288,918
未払費用	220,308	288,141
未払法人税等	161,242	23,789
賞与引当金	261,200	139,962
その他	175,612	428,053
流動負債合計	3,320,754	2,678,168
固定負債		
社債	710,000	710,000
長期借入金	1,109,565	1,020,230
資産除去債務	179,380	192,012
役員退職慰労引当金	29,525	45,412
繰延税金負債	2,057,469	2,024,475
退職給付に係る負債	74,137	87,124
長期前受金	143,774	121,854
その他	24,220	12,082
固定負債合計	4,328,071	4,213,193
負債合計	7,648,826	6,891,361
純資産の部		
株主資本		
資本金	600,852	601,202
資本剰余金	500,852	501,202
利益剰余金	5,100,982	5,190,234
株主資本合計	6,202,686	6,292,638
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△301	△12,017
退職給付に係る調整累計額	△6,184	△5,186
その他の包括利益累計額合計	△6,486	△17,204
新株予約権	57	57
純資産合計	6,196,256	6,275,490
負債純資産合計	13,845,083	13,166,851

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	8,684,403	9,319,191
売上原価	7,832,393	8,232,176
売上総利益	852,010	1,087,014
販売費及び一般管理費	951,630	1,022,395
営業利益又は営業損失(△)	△99,620	64,619
営業外収益		
補助金収入	419,511	99,844
その他	7,048	6,786
営業外収益合計	426,559	106,631
営業外費用		
支払利息	15,100	10,756
社債利息	2,437	2,061
支払手数料	1,135	1,000
その他	5,768	6,312
営業外費用合計	24,441	20,129
経常利益	302,497	151,120
税金等調整前四半期純利益	302,497	151,120
法人税、住民税及び事業税	60,784	97,421
法人税等調整額	58,763	△35,552
法人税等合計	119,547	61,868
四半期純利益	182,949	89,251
親会社株主に帰属する四半期純利益	182,949	89,251

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	182,949	89,251
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△11,716
退職給付に係る調整額	351	998
その他の包括利益合計	351	△10,718
四半期包括利益	183,301	78,533
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	183,301	78,533

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

新株予約権の行使に伴い、当第3四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ350千円増加し、資本金が601,202千円、資本準備金が501,202千円となっております。

(セグメント情報等)

当社グループの事業セグメントは、幼児教育事業の単一セグメントであり重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

3. 補足説明

当社グループは、次世代を担う子どもたちを育成する保育と幼児教育を主な事業としているため、幼児教育事業の単一セグメントとしております。

つきましては、補足情報として、売上実績を下記のとおり開示いたします。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日) (千円)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日) (千円)	前年同期比 (%)
幼児教育事業			
一時点で移転される財又はサービス	8,669,373	9,301,527	107.3
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	15,030	17,664	117.5
合計	8,684,403	9,319,191	107.3